

フジサンケイ ビジネスアイに紹介されました

フジサンケイ ビジネスアイ(2005年1月25日)に紹介記事が掲載されました。

エーエルティー株式会社

<http://www.alt.co.jp>

[Info@alt.co.jp](mailto:Info@alt.co.jp)

2005年1月25日

「測れないものを測る」精鋭技術  
アジアを視野に入れた戦略

今、東アジアを中心に経済社会が躍動感に溢れている。中でもハイテク分野においては、海外戦略にしり込みしない企業意識とそれを支える確かな技術力が必要になってきている。その技術は一九九二年創業のレーザ応用、特にレーザスキャンに挑戦するビジネスを展開するエーエルティ株式会社に息づく。

応用レーザ製品を主にメーカー向けに供給している同社は日本の大手のみならず海外からの引き合いもある。中でも韓国サムスン電子との繋がりは深く、レーザプリンタの検査システムでは二千もの実績を保持している。

「新製品出荷に際しては、必ず検査機のチエックをこなさなければなりません。製品多様化の中で無理を可能にしなければならぬのです」(高野社長)

市場が拡大しレーザプリンタも高速、カラー、ローエンドと開発機種が広がりを見せる中、広くアジアを視野に入れるのもビジネスとして重視する高野社長は製品開発にも余念を惜しまない。

新開発の「ダイナミックビーム径計測システム」は、走査しているレーザビームのビーム径を計測する。高回転での空気抵抗

伸びる  
企業には  
理由がある  
わけ シリーズ⑩

エーエルティ

や高出力モータの発熱によるビーム径への影響を測定でき、これによりLSU完成状態でのビーム径計測が可能になった。

広がる応用レーザの世界  
昨年十二月ISO9001に認証

昨今導入された三次元計測で応用分野も広がりを見せる。例えば鉄道分野では、新潟中越地震でダメージを受けたトンネルの検査に同社のスキャンシステムが使用されている。

「測れないものを測る」には技術的側面のみならず、時間やコストの削減の側面もあります。それらをも総合的にクリアすることが大切です」(高野社長)

同社は昨年十一月、ISO9001の認証を受けた。納期の短縮、自社内での開発から製造までを一貫して手掛けるスピードアップにもつながり、かつ製造・開発コストの削減が実現する。エーエルティの名がより鮮明に応用レーザの世界に刻まれていく。



高野 裕 社長

- ◇社長＝高野 裕
- ◇住所＝東京都練馬区  
豊玉南1-21-10  
(☎03-5946-7336)
- ◇資本金＝2200万円
- ◇ホームページ＝  
<http://aht.co.jp>